

名刺に印刷したダイヤルイン番号だけで外出中でも確実な連絡が可能に

シスコ ユニファイド コミュニケーションは、2009年9月1日から開始された株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ（以下、ドコモ）の「オフィスリンク™」サービスとの接続をサポートしています。オフィスリンク™は、同一法人のお客様において、全国のFOMA®エリア内で、FOMA とオフィスの内線電話機との通話、FOMA と FOMA との通話を内線番号を用いて定額料金で利用可能にするサービスです。Cisco Unified Communications Manager をドコモ網に接続することで、オフィス内の Cisco Unified IP Phone と FOMA 端末との間での内線通話が定額で利用可能になります（図1を参照）。

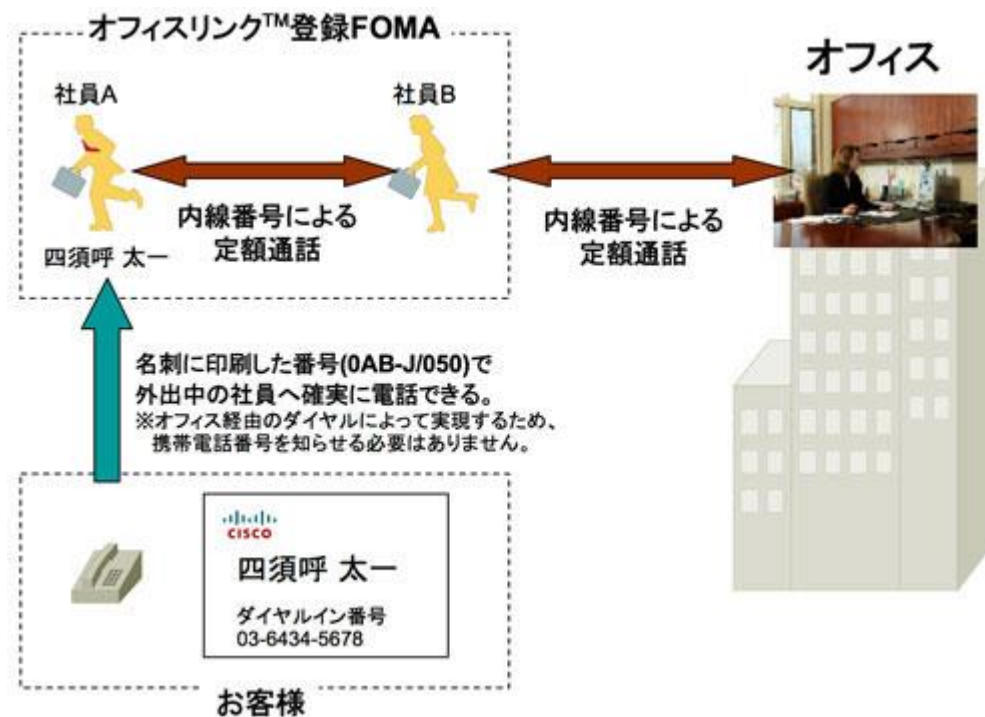


図 1 オフィスリンク™とシスコ ユニファイド コミュニケーション

機能と特長

シスコ ユニファイド コミュニケーション ソリューションとオフィスリンク™の連携によるメリットは、次のとおりです。

- 名刺に印刷したダイヤルイン番号により、外出中にお客様から掛かってくる電話を FOMA で確実に受け取ることができるため、携帯電話番号を名刺に印刷する必要がありません。
- 携帯電話への着信は、利用ユーザが設定・変更できます。

- Cisco Unified IP Phone から開催する電話会議(Ad-hoc/Meetme)にも FOMA を使って参加できます。
- 移動中、携帯電話で受け取れない電話は、Cisco Unity ボイス メールで留守電として受け取り、着信通知メールによって通知されます。
- SIP 直接続をサポートするため、特別なゲートウェイを必要としない安価な接続が可能です。

サポートされる接続方式

ドコモのオフィスリンク™ サービスは、Cisco サービス統合型ルータ(ISR)経由で Cisco Unified Communications Manager をドコモ網に接続することにより実現できます(図2 を参照)。

現在、オフィスリンク™との接続には、次の 2 つの方法があります。

- SIPによる直接続(PRIゲートウェイを必要としない安価な接続)
- Cisco サービス統合型ルータの PRI インターフェイスを使用する PRI ゲートウェイ接続

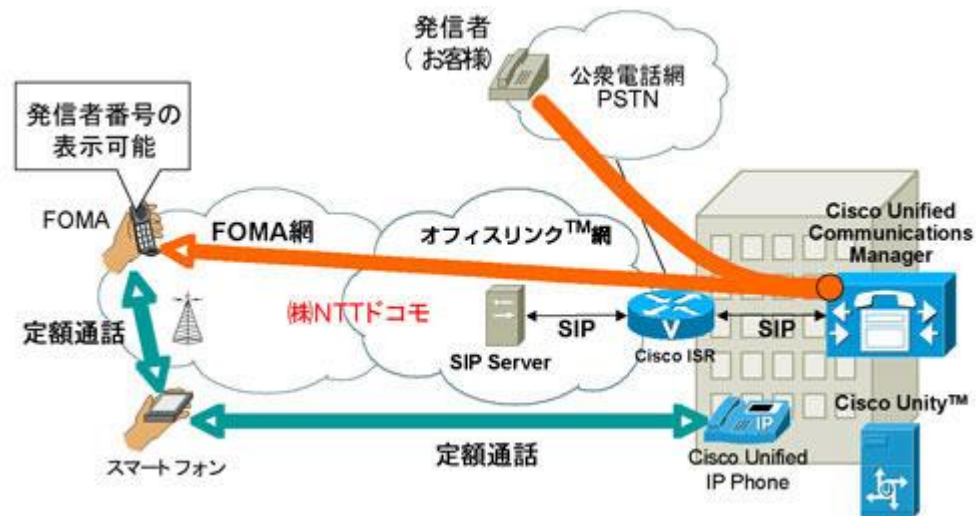


図 2 接続構成の概要

必要な機器とソフトウェア

ドコモのオフィスリンク™との接続には、以下の機器が必要となります。

- Cisco Unified Communications Manager (CUCM)
 - バージョン 6.1(2)以降
- Cisco サービス統合型ルータ(ISR)

-
- IOS 12.4(20)T 以降
 - Cisco Unified Border Element (CUBE)/SIP 接続
 - PRI インタフェース

対応インタフェースカード・モジュールは以下の通りです。

- VWIC2-1MFT-T1/E1
- VWIC1-1MFT-T1
- VWIC1-1MFT-T1-DI
- NM-HDV2(ベース モジュール)

©2017 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は2017年2月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107 - 6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先